

6 米

(1) 国際的な米需給の概要

○2008/09年度の米需給（予測）のポイント

米の供給面では、中国、インド、バングラデシュ等で増産される見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、中国、インド、インドネシア等で消費量が拡大し、世界の消費量も増加が見込まれている。

期末在庫量については、昨年に引き続き生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、中国、インド、バングラデシュ等で増加し、世界全体では前年度より9.2百万トン増加（2.1%）し、441.1百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン上方修正され、国別にはベトナムで上方修正され、フィリピンで下方修正された。

【消費量】

消費量は、中国、インド、インドネシア等で増加し、世界全体では前年度より5.2百万トン増加（1.2%）し、433.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正され、国別にはベトナムで上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より1.5百万トン減少（▲4.9%）し、29.3百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではインド、タイ等で輸出量の減少が、パキスタン、ベトナム等で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国ではイラン、サウジアラビア等で輸入量の増加が、EU、フィリピン等で減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、行われていない。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、中国、インド等で積み増しされ、世界全体では前年度より7.6百万トン増加（9.7%）し、86.1百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は19.9%まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正され、国別には、ベトナム等で上方修正され、日本、フィリピンで下方修正された。

表－1 世界の米需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	420.4	431.9	441.1	0.2	2.1
中国	127.2	130.2	135.1	-	3.7
インド	93.4	96.7	98.9	-	2.3
インドネシア	35.3	35.8	36.3	-	1.3
バングラデシュ	29.0	28.8	29.7	-	3.1
ベトナム	22.9	24.4	23.8	0.3	▲2.5
タイ	18.3	19.3	19.4	-	0.5
フィリピン	9.8	10.5	10.6	▲0.1	1.1
消費量	421.2	428.3	433.5	0.1	1.2
中国	127.2	127.5	130.5	-	2.4
インド	86.9	90.6	92.4	-	2.0
インドネシア	35.9	36.4	36.9	-	1.4
バングラデシュ	29.8	30.7	30.8	-	0.2
ベトナム	18.8	19.4	19.2	0.1	▲1.3
フィリピン	12.0	13.5	13.2	-	▲2.6
ミャンマー	10.7	10.2	9.7	-	▲5.4
貿易量	31.3	30.8	29.3	-	▲4.9
(輸出)					
タイ	9.6	10.0	9.0	-	▲10.1
ベトナム	4.5	4.7	5.2	-	11.8
パキスタン	2.8	3.0	4.0	-	33.3
米国	2.9	3.5	3.0	-	▲12.8
インド	5.5	4.5	2.5	-	▲44.4
中国	1.3	1.0	1.3	-	34.0
エジプト	1.2	0.5	0.8	-	77.8
(輸入)					
フィリピン	1.8	2.7	2.0	-	▲25.9
ナイジェリア	1.6	1.6	1.6	-	3.2
EU-27	1.3	1.6	1.1	-	▲33.1
サウジアラビア	1.0	1.0	1.4	-	41.5
イラン	1.1	1.1	1.4	-	27.3
イラク	0.6	1.0	1.0	-	2.6
マレーシア	0.9	0.8	1.0	-	27.7
期末在庫量	74.9	78.5	86.1	0.1	9.7
中国	35.9	38.0	41.6	0.0	9.5
インド	11.4	13.0	17.0	-	30.8
フィリピン	4.9	4.5	4.0	▲0.1	▲12.2
インドネシア	4.6	4.4	4.6	0.0	4.5
日本	2.4	2.6	2.7	▲0.2	6.2
タイ	2.5	2.2	3.1	0.0	41.1
ベトナム	1.4	2.0	1.8	0.3	▲8.7
期末在庫率	17.8%	18.3%	19.9%	0.0	1.5

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「PS&D」

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 中国

【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積の拡大と単収の増加が見込まれており、前年度より4.9百万トン増加（3.7%）し、135.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より3.0百万トン増加（2.4%）し、130.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の拡大などから、0.3百万トン増加（34.0%）し、1.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は3.6百万トン増加（9.5%）し、41.6百万トンとなり期末在庫率も31.6%（2.0ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の輸入量、輸出量が、それぞれ上方修正されたことから、2008/09年度の期首在庫が上方修正された。この結果、期末在庫量もわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国の米については、12月頃収穫は終了している。

【貿易情報】

中国については、2007年12月に輸出還付を取り消し2008年1月から輸出税を賦課しているが、輸出税率が2008年12月より引き下げられている（5%→3%）。なお、以前より輸出割当許可証管理を行っている。

イ インド

【需給状況】

インドの生産量は、前年度より2.2百万トン増加（2.3%）し、98.9百万トンとなる見込みである。2008/09年度の米の合計作付面積（カリフ米とラビ米の合計）は、昨年度をわずかに上回る見込みである。これは主に米価格が有利なため、特に最低保障価格と稲作強化制度（SRI）によるところが大きい。

消費量は、引き続き増加傾向にあり前年度より1.8百万トン増加（2.0%）し、92.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、2.0百万トン減少（▲44.4%）し、2.5万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は4.0百万トン増加（30.8%）し、17.0百万トンとなり期末在庫率も17.9%（4.2ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

インド農務省の推定（2009年2月12日現在）によると2008/09年度の米の合計生産量は前年より増加し98.9百万トンとなっている。このうち、カリフ米が前年よりも約2.8百万トン増加し85.5百万トン、ラビ米が0.6百万トン減少し13.4百万トンとなっている。ラビ米については作付面積が微増したものの、一部の地域で、降水量が少ないなど天候に恵まれなかったこともあり、生産量が減少すると見込まれている。

【貿易情報】

インドについては、非バスマティ米の輸出が禁止されており、現在も継続しているが、種子用の非バスマティ米に限り輸出禁止が2008年9月に解除された。また、バスマティ米に輸出税を課していたが、2009年1月19日に撤廃された。

（世界の生産量シェア 1位（2008/09年度30.6%）
輸出量シェア 6位（2008/09年度 4.4%）

表－2 中国の米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	127.2	130.2	135.1 (130.7)	-	3.7
消費量	127.2	127.5	130.5 (126.6)	-	2.4
輸出量	1.3	1.0	1.3 (1.5)	-	34.0
輸入量	0.5	0.3	0.3 (1.0)	-	10.0
期末在庫量	35.9	38.0	41.6 (61.7)	0.0	9.5
期末在庫率	27.9%	29.6%	31.6% (48.2%)	0.0	2.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	28.94	28.92	29.20 (…)	-	1.0
単収(t/ha)	6.28	6.43	6.61 (…)	-	2.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

（世界の生産量シェア 2位（2008/09年度22.4%）
輸出量シェア 5位（2008/09年度 8.5%）

表－3 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	93.4	96.7	98.9 (98.0)	-	2.3
消費量	86.9	90.6	92.4 (92.3)	-	2.0
輸出量	5.5	4.5	2.5 (4.3)	-	▲44.4
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	…
期末在庫量	11.4	13.0	17.0 (18.0)	-	30.8
期末在庫率	12.4%	13.7%	17.9% (18.6%)	-	4.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	44.00	43.77	44.00 (…)	-	0.5
単収(t/ha)	3.18	3.31	3.37 (…)	-	1.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

ウ インドネシア

【需給状況】

インドネシアの生産量は、良好な天候による単収の増加が見込まれており、前年度より0.5百万トン増加（1.3%）し、36.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.5百万トン増加（1.4%）し、36.9百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.4百万トン増加（128.6%）し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加（4.5%）し、4.6百万トンとなり、期末在庫率も12.5%（0.4ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の消費量、輸入量が、それぞれ下方修正されたことから、2008/09年度の期首在庫が上方修正された。この結果、期末在庫量もわずかに上方修正された。

【貿易情報】

インドネシアについては、米の純輸入国であり主要な輸出国ではないが、2008年4月11日から輸出を禁止している。

エ タイ

【需給状況】

タイの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.1百万トン増加（0.5%）し、19.4百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲1.0%）し、9.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、アジア、アフリカ等からの強い需要が見込まれていた前年度から1.0百万トン減少（▲10.1%）し、9.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.9百万トン増加（41.1%）し、3.1百万トンとなり期末在庫率も16.8%（5.6ポイント増）まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の輸出量が下方修正されたことから、2008/09年度の期首在庫が上方修正された。この結果、期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

農業協同組合省米局の米情勢報告によると、2008/09年度雨季作米の作付面積は9.3百万haと見込まれており、収穫がほぼ終了している。2009/10年度の乾季作米の作付け面積は、価格低下による作付面積の減少により約1.9百万ha（前年度2.0百万ha）と予想されており、生育ステージは、約12%が播種期、29%が分けつ期となっており、さらに約39%が出穂期、20%が収穫期に入っている。

〔世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 8.2%）〕

表－4 インドネシアの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

（単位：百万トン）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	35.3	35.8	36.3 (37.7)	-	1.3
消費量	35.9	36.4	36.9 (37.6)	-	1.4
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
輸入量	2.0	0.4	0.8 (0.3)	-	128.6
期末在庫量	4.6	4.4	4.6 (3.2)	0.0	4.5
期末在庫率	12.8%	12.1%	12.5% (8.5%)	0.1	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	11.90	11.90	11.90 (...)	-	0.0
単収(t/ha)	4.60	4.66	4.72 (...)	-	1.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」、
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

〔世界の生産量シェア 6位（2008/09年度 4.4%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度30.7%）〕

表－5 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

（単位：百万トン）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	18.3	19.3	19.4 (21.5)	-	0.5
消費量	9.8	9.6	9.5 (12.0)	-	▲ 1.0
輸出量	9.6	10.0	9.0 (8.5)	-	▲ 10.1
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	0.0
期末在庫量	2.5	2.2	3.1 (5.0)	0.0	41.1
期末在庫率	13.0%	11.3%	16.8% (24.4%)	0.0	5.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.27	10.60	10.68 (11.3)	▲ 0.02	0.8
単収(t/ha)	2.69	2.76	2.75 (2.88)	-	▲ 0.4

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」、
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

オ ベトナム

【需給状況】

ベトナムの生産量は、単収が過去最高を記録した昨年度より低下すると見込まれることから前年度より0.6百万トン減少（▲2.5%）し、23.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.2百万トン減少（▲1.3%）し、19.2百万トンとなる見込みである。

輸出量は、高い生産が維持されること、ベトナム産がタイ産よりも価格競争力に勝ることから前年より0.5百万トン増加（11.8%）し、5.2百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は0.1百万トン増加（33.3%）し、0.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は0.2百万トン減少（▲8.8%）し、1.8百万トンとなり、期末在庫率も7.6%（0.8ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.3百万トン、消費量が0.1百万トン、輸入量が0.1百万トン、それぞれ上方修正された。この結果、期末在庫量が0.3百万トン上方修正された。

【貿易情報】

ベトナムについては、政府契約以外の輸出業者による新規輸出契約を停止していたが、2008年6月13日からこれを解除した。また、8月15日からは、一定基準の輸出価格を超えた場合に輸出税が賦課されていたが、12月19日に課税が停止された。

カ フィリピン

【需給状況】

フィリピンの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.1百万トン増加（1.1%）し、10.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.3百万トン減少（▲2.6%）し、13.2百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.7百万トン減少（▲25.9%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.5百万トン減少（▲12.2%）し、4.0百万トンとなり、期末在庫率も30.3%（3.3ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.1百万トン下方修正されたことにより期末在庫量が0.1百万トン下方修正された。

（世界の生産量シェア 5位（2008/09年度 5.4%）
輸出量シェア 2位（2008/09年度17.7%））

表-6 ベトナムの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値(FAO)		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	22.9	24.4	23.8	(25.1)	0.3	▲ 2.5
消費量	18.8	19.4	19.2	(20.4)	0.1	▲ 1.3
輸出量	4.5	4.7	5.2	(4.5)	-	11.8
輸入量	0.5	0.3	0.4	(0.2)	0.1	33.3
期末在庫量	1.4	2.0	1.8	(4.8)	0.3	▲ 8.8
期末在庫率	6.0%	8.4%	7.6%	(19.3%)	1.1	▲ 0.8
(参考)						
収穫面積(百万ha)	7.20	7.41	7.31	(…)	0.02	▲ 1.3
単収(t/ha)	4.82	4.98	4.93	(…)	0.05	▲ 1.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」

（世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 2.4%）
輸入量シェア 1位（2008/09年度 6.8%））

表-7 フィリピンの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値(FAO)		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.8	10.5	10.6	(11.1)	▲ 0.1	1.1
消費量	12.0	13.5	13.2	(12.9)	-	▲ 2.6
輸出量	0.0	0.0	0.0	(0.0)	-	-
輸入量	1.8	2.7	2.0	(1.8)	-	▲ 25.9
期末在庫量	4.9	4.5	4.0	(2.2)	▲ 0.1	▲ 12.2
期末在庫率	40.6%	33.7%	30.3%	(17.1%)	▲ 0.4	▲ 3.3
(参考)						
収穫面積(百万ha)	4.19	4.35	4.40	(…)	▲ 0.09	1.1
単収(t/ha)	3.70	3.83	3.82	(…)	0.06	▲ 0.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (Nov 2008)」